

# 市政を問う

## 20人が一般質問

樋渡 邦美 議員



若者が定着できる  
雇用の確保は

**問** 新市の地域づくり  
においては、将来

を担う若者たちが地元  
に定着できる産業基盤の確

立も必要かつ大切な分野  
と思うがどう取り組んで  
いけるか。

**答** (江里口市長)

若者が地元に着  
るためには、雇用とい  
うのが一番大事であり、  
県内、市内また県外企業  
との連絡、情報収集を密  
にし、雇用の増にむけて  
鋭意努力する。

**問** 雇用の確保の点か  
ら考えると、企

業などのさらなる立地が  
必要な施策と思うが。

**答** (江里口市長)

四月から企業誘致  
係を設置、雇用創出面で  
の取り組みを強化してい  
る。企業誘致の優遇策の  
検討、立地の動向、適地  
の調査を行っている。

**問** 雇用確保の大きい  
企業、大型施設、

研修所などの誘致に市長  
自ら取り組むべき。

**答** (江里口市長)

自分自身もトップ  
セールスとして行動し、  
企業誘致に取り組む。

市税、国保税の高  
額滞納者の対策は

**問** 旧四町が合併した  
が厳しい財政事情

である。市の一番の自主  
財源でもある市税の着実  
な確保が一番重要であ  
り、税の公平性を損なわ  
ないためにも滞納者につ

いては、収納確保に努力  
すべきだ。

現時点での市税及び国  
保税の滞納額及び五十万  
円以上の高額滞納者は、  
どのくらいいるか。

**答** (江里口市長)

五月末での滞納額  
は、市税合計が四億一千  
三百六十三万円、国保税  
が四億五千六百五十一万  
円の見込み。また高額滞  
納者は六百九十二名であ  
る。

**問** 現在生活に困って  
いる方の納付の猶

予は仕方ないが、自主財  
源の確保、税の公平性の  
観点から長期滞納者が一  
人でも少なくなるような  
対策を講じてはどうか。

**答** (梅崎市民部長)

納税相談の実施を  
するなど、今後とも徴収  
に力を入れていく。



一般質問は、質問順に記載する予定でし  
たが、写真があるところと、無いところ  
があり、紙面づくりの都合上、順序をか  
える場合があります。

市丸 典夫 議員



かと考えたからである。JAビバレッジ（元園芸連）小城工場の操業を鹿島工場に移転計画とのこと、この件について市長の考え、またどのような対応をしたか。

JAビバレッジ小城 工場移転の影響は

問 今回あえて一企業の名を出し質問するのは、小城市に多大な影響を及ぼすのではない

か。道料金のこと、近隣からの騒音問題のことなどがあげられた。市長として操業の継続のお願いもしたが、企業存続のため統合せざるを得ないという説明を受けた。

答 (江里口市長) 正式には三月九日に、社長と専務が来庁、取締役会で移転決定がなされたことを報告にいられた。理由として、下請受注が半減したこと、水

問

JAビバレッジの水道使用料は昨年度で、小城町水道の二割を超える数字となっている。水道企業に及ぼす影響

答 (江里口市長) 平成十七年度の小城町水道事業の決算によると、給水収益が三億二千八百万円。JAビバレッジの水道使用料は六千五百万円。今回の移転計画により、平成十八年度で四千五百万円。平成十九年度で八百万円の使用料を試算している。

問

JAビバレッジが移転することにより、小城町水道の使用料を値上げするというのは市民の方の理解が得られるのか。また現在、小城

答 (江里口市長) しっかりと順序を踏まえ市民の皆さんに説明できるように十分検討していく必要がある。本社が移転した場合の税金については大変影響があるというのは事実だ。

江島佐知子 議員



現場の声を生かした福祉計画を

問 地域福祉計画の策定について

①進捗状況は。②地域の主体性と住民参

加をどう反映するか。③障害者自立支援法との関連は。

答 (江里口市長) ①総合計画の策定に合わせ、市民参画の委員会を開催する。②多くの人の意見を聞き生活者の視点を踏まえて取り組む。③県の地域共生ステーション(ぬくもいホーム)推進事業などを活用し支援をはかっていく。

放課後児童クラブの充実を

問 ①八施設の設備にばらつきがある。

②点検整備すべきでは。③指導員の育成は。④夏休みの対策は。⑤行政・学校・指導員・保護者の連携は。

答 (江里口市長)

①現状の学校施設を利用するが、状況を把握し備品など整備していく。

かどうか。水道料金は値上げになるのでは。

減を十分考えて、水道事業の財政的な経営計画を立て直す。水道料金そのものは、まだ小城市の中でも格差がある。それもあわせて勘案しながら、事業そのものの策定見直しということになる。

に本社がある。今後本社の移転もあり得るのではないか。その場合、小城市の税金に及ぼす影響はどうか。

携帯基地局設置ト ラブルを防げ

問 携帯電話は通信や情報収集の手段と

答 (江里口市長) 携帯電話の基地局

その他、地域審議会について質問しました。◀住宅街のそばに立つ基地局



三根 實 議員



五十年もこのま  
まで行くのか

個別排水処理事業  
は、旧牛津町で取  
り組んできた下水処理事  
業だ。住民が加入料金の

個人が負担したら行政が浄  
化槽の設置から維持管理  
までをする。他の地区は  
住民が負担する。住民の  
負担が公平になるよう市  
の職員が資格を取り、維  
持管理の点検をすべき。  
このままでは、これから  
五十年くらい不公平がつ  
づくのでは。

合併浄化槽と下水  
道の地域との使用料の格  
差は認識している。今後

松尾 義幸 議員



小学校の近くに  
児童クラブを

①児童クラブの設  
置運営基準をつく  
り、それに基づく財政措  
置をはかるべきではないか。

②牛津の児童クラブの抜  
本的な解決策として小学  
校の近くに土地を求め、  
児童クラブ専用の施設を  
つくることに踏み出すべ  
きではないか。

①放課後児童クラ  
ブの適正規模での指導員  
の配置や適正な施設整備、  
安全対策などの施設運営  
基準をつくることは、全  
国・佐賀県の動向を見な  
がら進めていくべきと考

の大きな課題である。  
地元の考えは  
まとまった

右原、山崎地区の  
水害解消に向けた  
取り組みが、農水省案で  
一本化した。この地区は  
ちよつとの雨で冠水し  
て、年に四、五回は冠水  
する。収穫間近の農産物  
が商品価値ゼロになった  
こともある。旧町時代か  
ら地元の考えが重要だ

と、いつも言っていた  
市長の考えは。

河川事務所の話を  
総合すると、排水ポンプ  
の設置は厳しい状況だ。  
地元の理解を得ながら、  
国、県と協議をしていく。

維持費は市が負  
担せよ

筑後川下流土地改  
良事業の説明会が

りられません。御了承く  
ださい。廊下にシートを  
敷いて、ランドセルを机  
に宿題をしていた。早く  
対応すべきではないか。

廊下で実施する前  
に、もつとほかに対応す  
る方法はなかったのかな  
と逆に学校現場に確認を  
していきたい。

この他に①都市計画  
マスタープランと道  
路網。  
②小城町平原の寄贈  
を受けた重松邸の対  
処。  
③小城町総合運動公  
園跡地活用。  
④保育所の充実。  
⑤松本山採石場の操  
業停止の申し入れを  
すべき。  
⑥四月十日、十一日  
の大雨による芦刈町  
の被害を質問しまし  
た。

四月二十日でした  
が、「児童クラブの  
部屋は、一年生の教室横  
の廊下です。お迎えの保  
護者の方は間違えないよ  
うにお願いします」、理由  
として、「町区児童集会の  
ため、二階多目的室は借

四月二十日でした  
が、「児童クラブの  
部屋は、一年生の教室横  
の廊下です。お迎えの保  
護者の方は間違えないよ  
うにお願いします」、理由  
として、「町区児童集会の  
ため、二階多目的室は借



▲廊下で実施の放課後児童クラブ



平野 泰造 議員



下水道事業の見直しは

問 市の下水道は現在七処理区で事業展

開、四処理区で供用開始、小城処理区だけは進展がないので他地区への影響

がでている。他の浄化センターを利用し小城の取り込みはできないか。処理法で周辺市町(多久市、

階で見直しをしなくては市民の負担増、市の財政が破綻しないか。

答 (江里口市長) 他の浄化センターへつなげるか見直しに取り組んでいるが、事業費、効率的な運営のためにも

方へ維持管理費の安い方へ移行。現在維持管理費のコストは牛津処理区が一番安い。高い所は五倍近くの単価だ。処理法により維持管理費(市民の負担金)が違う。今の段

他の自治体が処理法を変えていると十分認識した上で維持管理、建設費、水質問題を含めコンサルタ

高潮対策を

問 芦刈海岸は国土交通省の管理。棧橋

附近で堤防のかさ上げが七カ所されていない。台風による高潮が来たら大変な事態となる。防災上の取り組みは。

答 (江里口市長) 国交省は今年度、

答 (北島産業建設部長) 現地で確認し対応する。

▶台風で堤防を越える高潮 (芦刈海岸)



深川 高志 議員



小城市の農業問題を問う

問 小城市の農業問題について

①四月十日の大雨で大きな被害が出ているが、排

水対策に不備があったのではないか。今後の対応について。

②平成十九年より始まる品目横断的経営安定対策制度への対応と農林水産課内の大幅人事異動の件。

③認定農業者の再認定基準についての考え方。④ポジティブリスト制度(注3)への対応について。

答 (永淵総務部長) ①警戒態勢はしつ

答 (北島産業建設部長) ②集落の将来ビジョンの策定に、顔の見える農政を心がける。

③農業経営改善計画の目標達成に努力され、農業

新幹線問題と踏切一本化事業の考え方

問 新幹線西九州ルートは明日の佐賀県

のため、などと県の都合の良い話で、沿線の町にとって、小城市民にとって本当に安全で地域経済のチャンスになるのか。

答 (江里口市長) 西九州ルートは九州においても地域浮揚の

市長は将来を考えると必要だが安全面など考えると、地元の方々と話をし、議論することが、小城市に必要と言われた。今後どのような立場で、安全性や地域活性化の問題に議論し取り組んでいくのか。また踏切一本化と牛津停車場線の整備はどうなっているのか。

ため必要と考えているが、小城市の場合は、安心・安全という観点から地域の立場に立って、国・県にいかに入力されるかを視点を置いている。意見もいろいろあると思うので、早い時期に説明会を開催してゆく。牛津停車場線の道路拡幅及び歩道整備事業と踏切一本化の統合改良事業については、一日でも早く完成するよう県に申し入れる。

堤 克彦 議員



下水道整備は不可欠

問 小城地区は、計画区域を三百十六ha、処理方式をOD方式、終末処理場を響ヶ里地区に決定。同意が得ら

れたのか。また、芦刈処理区の進捗状況は。

答 (江里口市長) 小城処理区は、平成十七年度の認可を目標

とすることで、処理場の交渉を行ってきた。まだ集落の皆さんから同意をいただいていない状況である。鋭意努力をしていく。芦刈処理区は、平成十六年度に用地を買収し、現在は進入道路の拡幅工事をやっている。

中島 正之 議員



小・中学校の整備計画は

問 牛津中学校の改築を急ぎ、芦刈幼稚園、芦刈小・中学校の教育特区を設け、十二年間

の

答 (江里口市長) 牛津中、その後は芦刈小、三日月中と学校施設の整備が続く。給食の問題も絡み整備計画の確立のため、整備計画の検討委員会を設置している。一貫教育をすると、人のつながりが強くな

る。一貫教育の導入はできないか。統合ありきの検討委員会ではなく、芦刈校区の一貫教育も議論をすべきでは。

答 (今村教育長) 牛津中は、耐力度とともに築後四十年という非常に厳しい状況で早くに改築しなければなら

ない。芦刈校区については、一貫校の特色などに

小城本町街路整備及び街づくりは

問 ①二〇三号交差点の問題は、何ら進展していない。どうなっ

ているのか。また、小城本町通りの街路事業の継続事業認可をとるように、

市として陳情すべきではないか。

②小城公園、桜楽館を中心とした街づくり、商店街とのドッキングにより、人の流れをつくり出す工夫を。

③小城の玄関口でもある小城駅の改修をすべきではないか。並びに、駅周辺の道路網の整備など人が通りやすい通りたい道路の整備は。

答 (江里口市長) ①一軒の方が移転のため住宅を建築中。移転が終われば次第交渉していく。また、二期工事の早期着工をめざし、県に要望していく。

②小城公園、桜城館、桜楽館と中心商店街の周辺には、すばらしい資源がある。中心商店と連携ができるような、町並みをつくっていききたい。③小城駅の改修だが、百年以上たっている建物で、

合併して一年経過した今

問 敬老会は、旧町単位で、できないか。

答 (江里口市長) 本事業は、身近な地域での高齢者のお祝い

を想定。行政区の連携で大字単位などとして頂いて構わない。旧町単位では会場の問題、ひとり暮らしの方や体の不自由な方の送迎、会場でのお世話など、問題があり、身近な地域での開催が参加しやすいと思う。

答 (江里口市長) 芦刈庁舎では、大変狭過ぎるという事。連携を図るべき観光協会との関係、観光案内や商工団体などの窓口業務の円滑化を図るため、小城庁舎にした。市民の利便性、業務効果などを考えて決定した。

問 商工観光課は何故小城庁舎に移動したのか。

答 (江里口市長) 芦刈庁舎では、大変狭過ぎるという事。連携を図るべき観光協会との関係、観光案内や商工団体などの窓口業務の円滑化を図るため、小城庁舎にした。市民の利便性、業務効果などを考えて決定した。

明石 壽彦 議員



新幹線長崎ルート  
の対策は

問 在来線を利用した  
新幹線。牛津駅は  
単なる通過駅となり、小  
城市にはほとんどメリッ

トは考えられない。本数が増える事によって踏切の渋滞がますますひどくなる予想される。騒音、振動また踏切の安全面からも非常に不安である。この問題の解決策として在来線を含めた新幹線を高架にすべきと思うが。

答 (江里口市長) 安心安全という観点から我々はしつかりと住民の皆さんの意見を聞きそれを県・国に伝えて

この間に、土石流出問題などで住民不安が高まり、安全対策委員会が作られてきた。今回初めて安全対策提言書が作成された。地元での説明会やわかりやすいパンフレットを配布すべきでは。

答 (江里口市長) この安全対策提言書は、安全対策委員会での意見・大学の先生方の意見を集約し、小城市としての安全対策の方針を

諸泉 定次 議員



松本山安全対策  
提言書の住民へ  
の周知徹底を

問 小城市の岩松地区  
にある松本山採石  
場は操業から四十五年。

この機会に小城市の振興策として牛津駅南口を作る事、南口を住宅地域にする事で人口が増え商店街の活性化につながる。

ゆく責任がある。踏切の問題、線路と交差する道路の高架の問題など県・国に訴えている。県の負担が大きすぎ全線高架は考えられないというのが県が最終的に出した結論である。

問 古川知事は新幹線  
を生かした地域の  
取り組みに対して積極  
に支援するとしている。  
小城市も県に対して積極  
的に働きかけるべきで

まとめたもの。行政監督庁である県と業者に、提言書に基づいて事業をやってもらおう。それを私たち安全対策委員会が見届けなければならぬ。今後は、岩松校区全体協議会などで説明していきたい。パンフレット配布は考えていない。

答 (江里口市長) 市営住宅の借地料は天満町が四十年。柿樋瀬が三十七年。総額については昭和五十五年以前

四十年も続く公  
共施設の借地を  
見直すべき

問 牛津町の市営住宅  
は借地で、四十年  
も続いている。借地料は  
いくらか。今後どうする  
つもりか。

答 (江里口市長) 駅前開発についてはマスタープランの中でしつかりと計画として示されるべきと思っている。

問 牛津川の狭窄部の早  
期改修を

答 (江里口市長) JR下の現状は、武雄河川事務所牛津出張所に確認したところ完成

堤防であるが、多量の堆積土があり通水断面としては計画に達していないとの回答をえた。六角川改修期成同盟会において長崎本線上下流の狭窄部が出水時の通水阻害要因となっているため、九州整備局にもこの件は強く要望している。早急な対応としてしゅんせつが一番効果があるという報告を受け、要望している。

答 (江里口市長) JR下の現状は、武雄河川事務所牛津出張所に確認したところ完成

の資料がなく、昭和五十六年度から平成十七年度までの総額で、天満町が九千七百万円。柿樋瀬で二千五百万円。契約は一俵単位の米価基礎から固定資産評価がえに伴う負担調整率に変更している。今後、借地はしないのが市の方針。市営住宅のあり方を検討している。

その他、電波塔問題や少人数学級の延長など質問しました。

市営住宅

すべて借地の天満町の市営住宅



すべて借地の天満町の市営住宅



香月チエミ 議員



PF1方式導入で  
学校給食の整備を

**問** 市内学校給食は、方式や形態が違い、施設の老朽化も進んでいる。公共事業に民間

の資金や経営ノウハウを活用し、財政負担の削減効果が大きいPF1方式(注4)を学校給食の整備計画に導入したらどうか。また、給食費の滞納について小城町の学校給食センター分が突出しているが、対策は。

**答** (今村教育長) 学校給食のあり方に関する検討委員会を立ち上げる。その中でPF1方式は有効な手段の一

つとして研究していきたくい。

給食費の滞納は違法行為である。保護者が食材費の部分の給食費をきちんと払っていただくよう、担任、学校教育課、顧問護士含め改善をはかる。

**フッ素を応用した虫歯予防事業は安全か**

**問** 市内八保育所、五幼稚園、一小学校でフッ素洗口(十七年度

千六人)が実施されている。少なくとも洗口に使うフッ化物について賛否両論ある問題が多いものを、教育現場で一律にやることはどうか。さらに危険な面があることを伝えないのは、インフォームドコンセント(注5)ではないと思うが。

**答** (江里口市長) 安全性について賛否両論あるが、フッ素による虫歯予防については

既に多くの研究調査が行われ、安全かつ有効であると報告されている。説明会后、保護者の同意書により実施している。

**答** (今村教育長) 厚生労働省からの依頼が県教委にあり、その紹介が教育委員会の方にあっている。どのように対応するか早急に決める必要がある。

各処理区域を調整することとあわせて財政計画との整合をはかる。下水道区域外については、現在の合併浄化槽の個人設置型をそのまま踏襲していくのが、今の見解だ。

その他、「災害に強い地域づくり」について質問しました。



▲三日月町ドウイング付近の冠水  
～どっちが道路、どっちが川？～

中島 正樹 議員



小城駅千葉公園線  
整備の早期完成を

**問** 小城駅千葉公園線の街路整備事業も第一期工事もほぼ終了完成に近づいてきている。

**答** (江里口市長) 街路整備事業については工期も遅れていることは認識している。今後二期、三期、といった形で継続する計画をぜひ押し進めていきたいと思う。

今後第二期、第三期の早期着工整備、完成が望まれている。まちづくり活動支援補助金事業や改正中心市街地活性化法などをふまえ、市としての整備に関する考え方は。

支援事業については、一部分だけでなく大枠で考え取り組んでいく。改正法に関しては中心市街地活性化協議会の設置も視野に入れ、今後国、県の施策の方向性を見極めながら対応をしていく。

**下水道の年次整備計画は**

**問** 市の下水道事業は合併前から各町ごとに

業だが十七年度に市全体を見直した結果と、今後、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽の整備など、個別排水や市町村設置型も踏まえて、料金体系、年次整備計画の考え方は。

**答** (江里口市長) 下水道の全体計画の見直しについては、まず区域の見直しを行ったが、現在細部の詰めを行っているところで、今後、

**問** 今後の整備計画の中で市民に対して、税負担の公平性を考える上で、市全域において公共下水道、農排区域外の地域に対しても財政

**答** (江里口市長) 今後、見直しの中でも検討していく必要があると思うし、それも大変急務であると自覚している。

的なバランスを考えながら、より計画的な整備が必要と思うが市の考えは。

合瀬 健一 議員



荒廃樹園の対策を  
早急に

問 今年度、荒廃農地調査事業として、三十一万円の予算がついているが、この金額で果

たして小城市全体の状況を把握する事ができるのか。また、荒廃樹園のため隣の正常樹園が害虫や、イノシシの被害にあっているが、その調査後、どういう対策をするつもりか。

答 (江里口市長) 十九年度も予算化して調査に当たりたい。他の都道府県の対策を検討して取り入れていきたい。

たが医師との契約は。市民から強い要望がある外科医師確保はどうする。

答 (田中病院事務長) 小児科医師との契約は、今年六月から来年三月まで。

答 (江里口市長) 外科医師確保は困難だが、努力していく。

問 地域の医者は地域で育てる。研修医

問 鹿島市が行っている「海の森植林事業」というのがある。この事業は、荒れた森林に広葉樹を植樹し、微生物の力を借りて土や川を潤し、保水力を高め、土砂の流出を防ぎ、水源の確保と海の浄化につなげるというものだ。市長は、天山から有明海までが小城市の財産と言われるが、観光のためにもこのような事業を荒廃樹園に取り入れたらどうか。

の受け入れと、医学生に対して市独自の奨学金制度の新設を提案する。

答 (江里口市長) 研修医の受け入れ体制づくりは、有効な手法で環境整備を検討する。医学生に、奨学金制度の案は価値ある提案だ。

問 昨年、国が自治体病院同士の再編・統合を認めた。公立病院の広範囲な再編統合は。

答 (江里口市長) 山から海までの市民の皆様の協力を得ながら実現していきたい。それが森林か荒廃樹園にするのかは今後検討する。

問 樹園地のままでは植樹はできないが、その場合の転用は簡単にできると聞いている。転用などの手伝いが行政の仕事ではないのか。また、植林ボランティアの方々はたくさんいらっしゃる。我々もボランティアの募集など協力したい。早急に事業をやるべきではないか。

答 (江里口市長) 小城市でも年度ごとに植林事業をやっている。市民総参加の植林という意識づくりをやりたい。樹園地は農振地域であり、手続きや、転用に期間がかかる。計画性をもってやっていく。

答 (江里口市長) 指摘の点は、公立病院協議会で議題となった。病院連携を進めたい。

答 (江里口市長) 既存施設の有効利用をはかる。駐車場などで迷惑をかけないように配慮する。

問 各町の体育館は、老朽化し改築を迎える。またアイル西側の牛津総合公園の一部改良など考えるべきだ。

答 (江里口市長) 今各体育施設の充実をはかる。アイル西

答 (江里口市長) PFIは庁舎内で協議中。調査研究する。

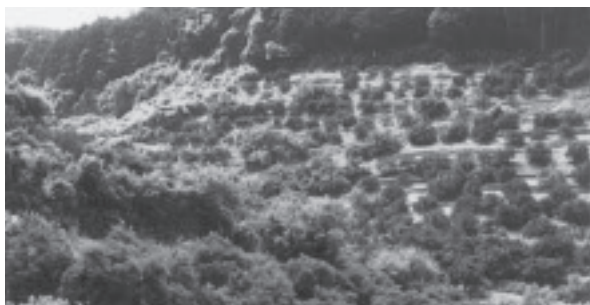
答 (江里口市長) グラウンドは視察し有効利用も検討する。

問 市では今後整備を進める時、多額の支出が必要。事業費の節約との観点から「PFI」は。

答 (江里口市長) 「PFI」導入は

答 (江里口市長) 公共事業に

答 (江里口市長) 公共事業に



荒れるみかん園



下村 仁司 議員



水防行政の責任はどこにあるのか

問 小城市と久保田町の境を流れる福所江水系に的を絞って質問する。昭和五十八年福所

江一号排水ポンプ・平成二年福所江水門・平成八年福所江二号排水ポンプ

場が随時完成し、三十年に一度の頻度で起こる水害を解消し、安全で豊かな暮らしを未来に伝えるために作られた。この防災システムが四月十日、

十一日の大雨で稼働せず、または、市職員が稼働させる方策を知らなかったから、今回の福所江流域の水害による施設園芸被害は人災だと思

う。

①水防行政の責任はどこにあるか。

②水防対策本部を立上げ時間外手当があるので責任もあると思うが。

③今回の福所江流域における防災面の反省点は。

過ぎ、開門操作はせず、ポンプの排水で対応した。十一日午前二時止め、再度午前八時三十分運転しようとしたが、動作不良により手間取った。福所江の水位を低下させるためには有明海の引き潮を待たねばならず、また、新村上流地区の内水面排水ポンプについては、排水路の水草が大量に漂着し、ポンプ運転ができない状況で、この水草除去に時間を要し、冠

舎から、責任者に連絡が入り、各庁舎ごとに旧町単位で班体制をとっている。

危険箇所の点検と対策は、平成十七年度に防災マップを作成し、市内全域にお知らせしている。河川及び海岸は五月二十四日、巡視を実施。山間部を含めた巡視、点検は、防災会議終了後、消防団とともに計画している。

災害時における要支援者対策は、支援メニュー

水した。

①水防行政は市の直轄する仕事であり責任は市にある。

②警報が発令されると共に緊急水防配備体制を取り、総額百二十万円の時間外勤務手当を支給した。

③福所江排水施設は、特殊な水門であることを考慮して、排水対策の基本的操作手順についての第一は水門操作により福所江の水位を低下させることが基本である。

敬老会を町単位で

問 町単位での敬老会は、ボランティアで実施できるというなら、まず市職員ボランティアで芦刈町だけでもできないか。

答 (江里口市長) 市職員はボランティアで参加は当たり前と思う。

地域防災対策は

答 (江里口市長) 今回の大雨で福所江の河川水の上昇が早く、排水機は十日午後八時より運転したが、水門の上流と下流の水位差があり

風水害や地震、情報伝達はどう対応しているか。梅雨期、台風前の危険箇所の点検は。要支援者対策で特に高齢者や障害者を避難させる場合の対応は。

答 (江里口市長) 勤務時間内は牛津庁舎の総務課、芦刈庁舎の建設課及び農村整備課、時間外は日直及び牛津庁

答 (江里口市長) 関連のある樋門の流れとというのは、ある程度皆さんにも把握してもらおう説明をしなければいけないと思う。

危険箇所の巡視



危険箇所の巡視

答 (江里口市長) 県の就農促進方針に基づき認定を行い、資金貸し付けの支援措置を講ずるもので、一つに就農研修資金、二つ目に就農準備資金、三つ目に運転に必要な就農施設資金がある。集落営農は、五年の期間を通じて法人化に関する説明、研修会などの会合に参加してもらい、集落営農から農業法人へ移行できるように取り組む。

農林業の支援と活性化

問 新規就農者への支援を、具体的にどう進めるのか。集落営農と法人化は、どう考えているのか。

答 (江里口市長) 勤務時間内は牛津庁舎の総務課、芦刈庁舎の建設課及び農村整備課、時間外は日直及び牛津庁

集落間の排水ポンプ場、井樋の開閉については、具体的な話し合いの場を設けて積極的に解決をする考えはあるのか。

堤 謙太 議員



資源ゴミ対策は

なぜ資源ごみの分別回収は集落による回収になったのか。

答 (江里口市長) いよいよ七月より

毎週水曜日に集落ステーションによる資源ごみの分別回収が始まる。自宅近くのステーションにすることで、より多くの市民が出しやすくなる。また、分別意識を高めてもらうことにより燃えるゴミの減量化につながり、処分費用が節減できると考える。

問 マイバックの推進と、レジ袋減量化の取り組みと改善は。

答 (江里口市長) レジ袋の有料化も

検討されている所であり、ごみ減量化リサイクルの推進を、県・市・小売店と積極的に取り組んでいきたい。

問 粗大ごみの回収も行政で対応を。

答 (今村教育長) 小学校では自然と

問 学校での環境教育のあり方は

答 (江里口市長) 天山地区共同じん介処理場で処分できない粗大ゴミについて、処理費用、運搬費用の一部を受益者に負担してもらい、指定業者に回収できるように早急に検討していきたい。



▶この分別でいいの？

高木 一敏 議員



AEDは計画的に設置する

問 AED(自動体外式除細動器)とは心不全により心臓が突然止まって、意識を失った

答 (江里口市長) AEDの設置の必

要性は高く今年度中に、中学校に設置する。今後人に電気ショックを与えて回復をはかるものである。これまで医師、看護師、救急救命士が使用を許されていたが、二〇〇四年より一般市民にも認められ人が多く集まる学校、公民館、スポーツ施設に配備が広がっている、当市も配備してはどうか

問 合併前の最後の大型事業、保健福祉

答 (江里口市長) 利用者が増えよう一億二千六百万円財源投入

の計画は、県と各市町、民間施設が一体となって共同購入して人が多く集まる所に設置予定。

答 (江里口市長) 利用者は、相対的

に市外の方が若干多い。市内住民の方も増えています。



▶市外の利用者が多いアイル

市の公用車に防犯ステッカーを

問 全国各地で子ども

に關係する事件や事故が多発している。公用車に防犯ステッカーを張って、子どもと市民の安全を守るために巡回してはどうか。

答 (江里口市長) 青色回転灯と防犯

ステッカーを装着した公用車を考えている。



# 議員活動あれこれ



4月 JA佐城 畜魂祭



5月 小城市男女共同参画ネットワーク第2回総会



6月 地方を守れ! 闘う地方緊急総決起大会



7月 清水の山開き

上瀧 政登 議員



牛津赤レンガ館に  
トイレの設置を

**問** 牛津赤レンガ館は  
本年四月にリニューアルオープンし、使い勝手がよく文化の発信

手がよく文化の発信

の拠点として、小城市内外の皆様に大変喜ばれている。国の登録有形文化財として、ますます活用されると思うがトイレがない。特に雨の日などは不便をきたしているの  
**答** (江里口市長) 観光の面からトイレの設置については年次的に整備をしていく。今後も優先順位をつけ、設

**答** (江里口市長)

置後の維持管理の事も考慮し、検討していく。



▲文化の発信地・赤レンガ館

早急に牛津中学校の校舎の改築を

**問** 牛津中学校の校舎の設計時期はいつ

になるのか。また、芦刈中との統合はあるのか。芦刈小・中学校の将来の考えは。

**答** (今村教育長)

今年度、教育施設整備検討委員会を立ち上げ、整備のあり方、緊急性、重要性を踏まえ、施設整備計画を取りまとめ進めていく。牛津中単独か芦刈中との統合か、小中一貫教育、給食などさまざまな課題に検討を

加えていく。

市内巡回バスの運行は弱者の視点で

**問** 十九年度より巡回バスの運行が大幅に見直しながされるように計画されている。その基本的な考えは。

**答** (江里口市長)

交通弱者といわれる高齢者、障害のある方などの外出機会を確保する事を基本に考え、小城市全体から見た時の乗り継ぎや料金などを含めて、循環するコミュニティバスの調整を行っている。市の財政負担を抑える必要もある。利便性をはかり公平性の視点から受益者負担をお願いしたいと思っている。

運行は市内の事業者に委託し、運転手の年齢は基本的に六十五歳以下で考えている。